

授業科目	基礎作業学 2	2 学年・後期・1 単位 (45 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	森元隆文 (保健医療学研究棟 E501 号) e-mail : takamori@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	太田久晶、坂上真理、中島そのみ、中村裕二、横山和樹		
概要	普段何気なく行っている作業でも、その作業の持つ意味や効果は多彩である。本科目では、作業の治療的意味を支える基本理論を学習する。また、実際の作業活動を経験し、各種活動の基本技術を習得するだけでなく、基本理論の観点から分析することで、それぞれの作業の持つ治療的意味や対象者に対する関わり方について理解を深める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作業活動の治療的意味を支える基本理論について説明できる。</li> <li>2. 包括的作業分析と限定的作業分析について概略を説明できる。</li> <li>3. 限定的作業分析を用いて作業活動を分析することができる。</li> <li>4. 作業活動の臨床的応用の視点ならびに教授法について説明できる。</li> <li>5. 各種作業活動の基本技術を習得できる。</li> </ol>		
関連科目	基礎作業学 1、作業療法概論、作業理論と評価		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	レポート	80%	レポートは、提出状況ならびに内容の目標達成状況により評価する。 参加態度は、講義・演習時の積極的な参加や探究的な姿勢の度合いにより評価する。
	参加態度	20%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>①山根寛 [2015] 「ひとと作業・作業活動 新版」 三輪書店</li> <li>②吉川ひろみ [2008] 「「作業」って何だろう」 医歯薬出版</li> <li>③日本作業療法士協会 編 [2003] 「作業-その治療的応用 第2版」 協同医書出版社</li> <li>④小林夏子 他 [2007] 「標準作業療法学 基礎作業学」 医学書院</li> <li>⑤日本作業療法士協会 監 [2009] 「作業療法学全書 基礎作業学 第3版」 協同医書出版社</li> </ol>		
履修上の留意点	作業活動の実習時は、各種作業に適した服装を着用する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス 「作業のレンズ」について	事前: 参考書1(山根著・1 年次購入 済)P157~169 を読む	講義	森元・坂上
2	作業のレンズで現象と人をとらえる①	事後: 演習内容のまとめと記録	演習	坂上・森元
3	作業のレンズで現象と人をとらえる②	〃	〃	〃
4	日常生活動作分析①	事後: 演習内容のまとめと記録	演習	太田
5	日常生活動作分析②	〃	〃	〃
6	日常生活動作分析③	〃	〃	〃
7	革細工の実際と分析①	事後: 実習内容のまとめと記録	実習	森元

8	革細工の実際と分析②	〃	〃	〃
9	革細工の臨床的応用について	〃	講義・実習	〃
10	限定的作業分析の実際とフィードバック	事前: 参考書1(山根著・1年次購入済)P170~186を読む	講義	森元
11	陶芸の実際と分析①	事後: 実習内容のまとめと記録	実習	〃
12	陶芸の実際と分析②	〃	〃	〃
13	籐細工の実際と分析①	事後: 実習内容のまとめと記録	〃	中島・横山
14	籐細工の実際と分析②	〃	〃	〃
15	木工芸の実際と分析①	事後: 実習内容のまとめと記録	〃	中村裕
16	木工芸の実際と分析②	〃	〃	〃
17	木工芸の臨床的応用について	〃	講義・実習	〃
18	陶芸の臨床的応用について	事後: 実習内容のまとめと記録	〃	森元
19	集団レクの実際と分析①	事後: 集団レク実施計画の立案	演習	森元・横山
20	集団レクの実際と分析②	〃	〃	〃
21	集団レクの実際と分析③	事前: 集団レク実施の準備	〃	〃
22	集団レクの実際と分析④	〃	〃	〃
23	対象者への関わり方について	事前: 配布資料を読む	講義	森元